

2026 年度  
能力強化研修

「市場志向型農業振興(SHEP)～  
SHEP アプローチの考え方理解と実  
践方法の検討～」  
コース

A 日程:2026 年 12 月 15 日(火)～12 月 16 日(水)  
B 日程:2026 年 12 月 17 日(木)～12 月 18 日(金)

## 募集要項



※当研修はオンラインで実施する A コースと  
対面で実施する B コースから選択できます。

独立行政法人 国際協力機構  
人事部 開発協力人材室

## はじめに

JICA の技術協力プロジェクト「小規模園芸農民組織強化計画プロジェクト(SHEP: Smallholder Horticulture Empowerment Project)」は、ケニア西南部の 4 州において、2006 年から 2009 年にかけて実施されました。SHEP では農民組織化を推進するとともに、「作ってから売り先を探す」という従来のスタイルではなく、まず市場を知った上で、「売れるものを作る」という市場を意識した農業経営を提案しました。そして、そのために農民組織自身による市場調査と対象作物の選定、農民組織ごとの行動計画の作成を支援し、さらにこの行動計画を実行するための技術支援等<sup>1</sup>を行いました。その結果、対象農家の所得が大幅に増加し、家の修繕、子女の教育費捻出、食事の改善など生計に大きな正の影響を与えました。

その結果を受けて、2013年6月に開催された第5回アフリカ開発会議(TICAD5)においてSHEPの広域化が日本国政府のコミットメントの一つになりました。現在までに、アフリカ地域だけでなくアジア・中南米・中東地域を含む約60か国においてSHEPアプローチが展開され、これまで60件以上のプロジェクトを通じてSHEPアプローチの普及に取り組んできました。また、2019年8月に開催された第7回アフリカ開発会議(TICAD7)では、「SHEP100万人宣言」が行われ、園芸生産に限らず、稲作や畜産など様々な分野においてSHEPアプローチの活用を推進していく方針が示されました。その後もSHEPアプローチの普及は着実に進展し、2025年8月に開催された第9回アフリカ開発会議(TICAD9)では、これまでに約39万人<sup>2</sup>の小規模農家がその恩恵を受けたことが確認されるとともに、2030年までの共同宣言の目標に向けて、各種パートナーとの連携を一層強化していくことが確認されました。今後はJICAプロジェクトでの活用に限らず、国際機関や民間企業、NGOとの連携によるSHEPアプローチの更なる普及も期待されています。

SHEP アプローチを取り入れた事業が成功するためには、そのコンセプトを十分に理解した専門家による活動が不可欠です。そのため、農業・農村開発ないし参加型開発などの実務経験を有する方を主な対象に、SHEP アプローチに基づいた事業形成・運営を可能とする知見を得ていただくことを目的として、本研修を実施します。

皆様のご応募をお待ちしております。

---

<sup>1</sup> ケニアの SHEP で用いられた小規模農家が作物を「作ってから売り先を探す」のではなく「売れるものを作る」ための手法や考え方を「SHEP (Smallholder Horticulture Empowerment and Promotion) アプローチ」と呼んでいます。

<sup>2</sup> 約 39 万人は 2024 年度末の実績。2025 年度末時点では、SHEP アプローチの裨益農家数は約 60 万人に達しています。

## 1. 研修コース名、研修期間、募集人数

- (1) 研修コース名:「市場志向型農業振興(SHEP)～SHEP アプローチの考え方理解と実践方法の検討～」コース
- (2) 期間: A 日程:2026 年 12 月 15(火)～16 日(水) オンライン  
B 日程:2026 年 12 月 17(木)～18 日(金) 対面
- (3) 募集人数: A 日程 40 名程度、B 日程 20 名程度  
(一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも正規受講者を募集する予定)

## 2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) 専門家・調査団員等として JICA 事業に携わる意志があること
- (2) 研修の全日程に参加可能であること。
- (3) 専門能力・経験: 途上国で栽培、農業普及、農業土木、農業経済などの農業・農村開発あるいはコミュニティー開発などで実務経験を 3 年以上有する方が望ましい。
- (4) 語学力: 以下のいずれかの語学力を有することが望ましい。(詳細は JICA [専門家語学ガイドライン](#) 参照)
  - ①TOEIC730 点以上、TOEFL550 点(CBT213 点/iBT79 点)以上、英検準 1 級、国連英検 B 級、IELTS 6.0 以上
  - ②仏検 2 級以上、DELTA 第 1 段階(DELTA B1)、仏語能力検定試験(TEF)361 点以上、仏文部省認定仏語能力テスト(TCF)300 点以上
  - ③西検 3 級以上、DELE B1、SIELE B1
  - ④アラビア語或いはポルトガル語において業務遂行が可能なこと。

※保持している語学力に係る公的資格を、履歴書に必ず記載してください(取得年月が新しいものを優先する。取得年月も記載すること)。

※①は、JICA 専門家語学ガイドライン A レベル(高いコミュニケーション能力が求められる案件)基準。

※②・③は、JICA 専門家語学ガイドライン B レベル(業務上十分なコミュニケーション能力が求められる案件)基準。

### 3. 研修会場

本研修は、A 日程ではインターネット上でオンライン形式(Zoom 使用予定)にて実施し、B 日程では JICA 麹町本部での対面型式による研修を予定しています。

### 4. 研修概要

#### (1) 目的

- ① SHEP アプローチを理解する。
- ② 過去にご自身が担当した(または実施中の)事業に SHEP アプローチを反映した場合のプロジェクト活動とアウトプットが想定出来るようになる。
- ③ 今後立案する事業に、SHEP アプローチを反映させることが出来るようになる。

#### (2) 日程(暫定)

| 講義日時 | 講義・演習名                                         |
|------|------------------------------------------------|
| 1 日目 | 開講挨拶、関係者紹介等                                    |
|      | オリエンテーション/出席者自己紹介                              |
|      | 講義:SHEP アプローチ及び SHEP 広域化の概要(事前課題動画を前提としたセッション) |
|      | 講義:SHEP における心理学的側面(事前課題動画の視聴を前提としたセッション)       |
|      | 講義:SHEP における情報の非対称性緩和(事前課題動画の視聴を前提としたセッション)    |
|      | SHEP 演習                                        |
| 2 日目 | 前日の振り返り                                        |
|      | SHEP 演習                                        |
|      | SHEP 実施国の C/P 機関との意見交換セッション                    |
|      | 振り返り                                           |
|      | 閉講挨拶                                           |

※本日程は、暫定版のため変更の可能性があります。

※講義時間は 9:30-17:30 を予定しておりますが、変更の可能性があります。

※研修では PC 使用するのでご持参をお願いします。

### (3) 事前学習／参考文献

※事前学習は、受講が確定した方が対象です。

本研修受講者は、以下①の事前学習を必ず行ってください。また、SHEP アプローチのベースとなる2つの理論に関し、②の参考文献をご紹介します。

#### ① 事前学習(必須)

講義は、事前学習の内容を踏まえて進める予定です。必ず、以下の動画の視聴及び資料2点の通読をお願いいたします。

<動画視聴>

・マルチメディア教材「SHEP アプローチ～動機づけ理論に基づく「市場志向型農業振興」～（約 26 分）」

<https://youtu.be/j7YNgGAKUN0>

・講義動画（約 4 時間）

受講が確定した方に別途共有いたします。

<質疑応答集>

・農業普及執務参考資料 別添2 「SHEP アプローチ質疑応答集」

※下記資料の P40 ～P62 をご覧ください。

[https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/agricul/approach/shep/materials/ku57pq000021x52r-att/materials\\_01.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/agricul/approach/shep/materials/ku57pq000021x52r-att/materials_01.pdf)

・SHEP アプローチ ナレッジ・教訓集

[202505Knowledge lessons.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/agricul/approach/shep/materials/ku57pq000021x52r-att/materials_01.pdf)

#### ② 参考文献

・SHEP 普及員向けハンドブック(SHEP Handbook for Extension Staff)  
【英語版】

[shep handbook en.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/agricul/approach/shep/materials/ku57pq000021x52r-att/materials_01.pdf)

・現場の声からひもとく国際協力の心理学

[psychology jp.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/agricul/approach/shep/materials/ku57pq000021x52r-att/materials_01.pdf)

・「情報の非対称性の緩和」にかかる調査報告書

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/12270104.pdf>

・研修ダイジェスト

[https://www.youtube.com/watch?v=MRfpY\\_cZ7Wg](https://www.youtube.com/watch?v=MRfpY_cZ7Wg)

## 5. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。まず「PARTNER」の登録が完了していることが必要です。「PARTNER」の登録だけでは、研修コースへの応募は成立しません。「PARTNER」への登録後に本研修コースへ応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、通知が届かない場合は、「人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

### (1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に人材登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。「PARTNER」(人材登録)の URL  
<https://partner.jica.go.jp/Account/HRAboutRegist>

#### 【PARTNER 登録の注意事項】

応募時には PARTNER マイページの「登録内容の確認／更新」にて、所属先などの情報を最新に更新してください。また、更新の際には、「プロフィール公開」欄は「希望する」を選択し、「プロフィール公開対象」には必ず「JICA」を選択してください。

### (2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ(<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>)からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

#### ① 履歴書

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名\_1 履歴書」として、PDF 化して提出してください。

#### ② 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目(6項目目)に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名\_2 自己申告書」として、PDF 化して提出してください。

尚、ご希望の参加方法について「オンライン希望(12/15～12/16)」「対面希望(12/17～12/18)」「どちらでも良い」から選択頂き必ず記載をお願いいたします。コース確定後の変更は承れませんので、予めご了承ください。

#### ③ 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。なお、推薦書は、書式不問です。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要

ありません。ファイル名は「氏名\_3 推薦書」として、PDF 化して提出してください。

### (3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください(予め応募書類をご準備ください)。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”  をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「WEB から応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記(2)の応募書類を添付して PDF 化して提出してください。

#### 【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

## 6. 応募締め切り

締切日: **2026 年 10 月 18 日(日)**

## 7. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2026 年 11 月 13 日(金)**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号(受付番号)を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号(受付番号)は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

## 8. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

## 9. 参加費

無料

## 10. その他

本研修修了後、2026年12月18日(金)18:00～19:30に、JICA 経済開発部主催にて、各国の SHEP アプローチ活用事例の紹介・意見交換を通じ、同アプローチの更なる理解促進を図ることを目的とした「市場志向型農業振興(SHEP)能力強化研修フォローアップ講座」を開催予定です。別途 JICA 経済開発部からご案内いたしますので、ぜひご参加ください(参加任意)。

## 11. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (5) 受講のために必要な経費は自己負担となります。(宿泊先の紹介および斡旋は行っていないところ、あらかじめご了承ください。)
- (6) オンライン受講に必要なPCや安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)等は受講者でご準備ください。対面研修の際にはノートパソコンをご持参いただくようお願いいたします。
- (7) 所属先推薦書を含む応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

様式 1 自己申告書

様式 2 推薦書(書式不問)



—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

**【個人情報の利用目的】**

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報（セミナー・イベントやホームページの案内等）や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

**【個人情報の取扱いについて】**

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

**【募集・選考に関する問い合わせ先】**

独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室（研修管理室）  
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル  
E-mail: [hrgtc@jica.go.jp](mailto:hrgtc@jica.go.jp)

**【応募時のシステムに関する問い合わせ先】**

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局  
こちらのお問い合わせフォームより <https://partner.jica.go.jp/>